学校評価(自己評価)公表シート

社会福祉法人アタラシイカタチ
 幼保連携型認定こども園 やまとこども園 hug

1. 本園の教育・保育目標

教育・保育目標

- 丈夫で体力のある子ども
- 自分の主張をはっきりとすることができ、みんなで力を合わせることを大切にする子ども
- 元気よく友だちと遊べる子ども
- 自分のことは自分でできる子ども
- 自然に目を向けられるこども
- 感動し、驚き、疑問を持ち、考え、表現できる子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目を設定し、それらに沿って自己評価を実施し、職員が主体性を持って客観的に自園の教育内容・保育内容をチェックし、重点項目について点検と改善に取り組む。

3. 評価項目の達成と取組み状況

評価項目	取組み状況
こども園の教育・保育理念や方針に沿って教育・保育課程を編成している。	園の教育・保育理念に沿った全体的な計画になるように作成している。
指導計画は、教育・保育要領、教育・保育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成されている。	本園の教育保育目標を職員間で、共通理解の中、子どもたちが主体的に活動し遊びがより充実するように、保育環境や援助の在り方を話し合い実践している。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	日々の保育の記録から、子どもの育ちを職員一人ひとりが視点をもって子どもの実態を把握し、一人ひとりのいいところが伸ばせるように話し合いながら具体的な実践に努めている。
毎月、各クラスの成果と課題を報告し、確認している。	毎月の月案、週日案で反省評価を行い、主幹、園長と共有しながらケース会議及び年齢別会議で職員に報告している。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人一人の子どもに寄り添い、良さを認め、保育教諭が客観的に見る目を養うように努めている。
遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自ら選んで遊ぶことができ、それを発展させて友達と協力して遊んだり、工夫したりできる環境づくりを探りながら進めている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	一日の生活の流れの中で、基本的な生活習慣が身に付くように“くりかえし”と“認める言葉”を重視し、やる気を促している。

教育・保育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	園または、教職員にとって必要な研修内容を検討し、計画的に園内外の研修に取り組むことで更なる教職員の資質向上に努めている。
子ども園の情報を発信していく。	スライドショーや掲示物、園だよりを通して日々の保育の様子を発信していく。また、祖父母交流会を開き、祖父母による地域への情報発信をしている。
保護者のニーズの把握のために、要望や苦情に適切に対応をはかる。	<p>参観や個人懇談、保護者アンケートの実施、学校評議員会を通じて、保護者の考えを聞きながら園の考えも伝え、改善に努めている。</p> <p>駐車場の整備を行い、周辺道路の渋滞解消に努めた。</p> <p>園周囲に防犯灯を設置し、薄暗い状況の解消に努めた。</p> <p>苦情に関しては真摯に向き合い対処している。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>学校評価について教職員が研修などで趣旨や意味を理解し、適切に自己点検や自己評価に取り組む姿が見られた。今後も自らの教育や保育を日々振り返りながら、反省や改善を繰り返し、充実した教育・保育を実施していきたい。また、各種の課題や目標についても概ね達成ができつつある。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全教育と安全管理	地震などの自然災害への対応と計画・準備、また不審者等への対応など、危機管理マニュアルの徹底と日頃の訓練を通して職員の意識の向上を図る。
自己点検・自己評価	「園で取り組むべき児童虐待対応」についての研修を受け、園として、保育者としてどのように対応すべきかを学び、保育の見直しに心がけた。今後も各職員においてさらに課題を設定し、自己研鑽に取り組むようにする。
指導計画の編成	主体性の大切さを再確認し、遊びがより充実できるように、また乳幼児の育ちに繋げる保育が出来るように日々意識する。